

平成27年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本 年	前 年	前5か年
4月 3日	4月 7日	4月 11日

2. 生育状況

項目	年 次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本 年	1.10 ± 0.39	1.85 ± 0.67	3.81 ± 1.21	6.21 ± 1.94	
	前 年	0.74 ± 0.36	1.16 ± 0.54	2.09 ± 0.96	3.11 ± 1.35	4.71 ± 1.83
	前5か年			1.22 ± 0.51	2.16 ± 0.81	3.89 ± 1.38
新葉数 (枚)	本 年	0.40 ± 0.50	1.30 ± 0.55	2.43 ± 0.68	3.62 ± 0.61	
	前 年	0.21 ± 0.41	0.83 ± 0.63	1.85 ± 0.71	2.77 ± 0.72	3.29 ± 0.62
	前5か年			0.98 ± 0.58	1.79 ± 0.69	2.67 ± 0.63

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	2.0	2.5	2.7	6.4	8.2	7.8	-1.2	-2.6	-1.4
	2.8	0.7	2.5	7.2	6.7	7.6	-0.8	-4.3	-1.7
	3.6	3.5	2.2	7.6	10.0	7.2	0.1	-2.1	-1.9
2月 上旬	2.1	2.7	2.1	7.1	7.5	7.5	-1.2	-0.5	-2.5
	3.3	1.5	2.8	8.0	5.6	8.1	-0.6	-1.6	-1.6
	6.3	4.4	4.2	11.1	10.6	9.9	2.0	-1.1	-0.6
3月 上旬	5.1	3.5	4.8	9.9	8.4	10.4	1.2	-0.8	0.0
	7.7	6.9	6.1	13.8	13.4	12.2	2.1	1.4	0.6
	8.3	9.5	7.4	15.8	15.6	13.5	1.8	4.0	1.8
4月 上旬	10.9	9.9	9.7	14.5	17.3	16.2	7.6	3.6	3.7
	12.3	11.2	11.8	17.5	18.4	18.4	7.1	4.1	5.8
	16.3	14.0	13.5	23.8	20.2	19.8	9.3	8.4	7.6
5月 上旬	18.1	14.8	15.8	24.4	21.9	22.2	12.1	8.7	10.1

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	30.5	35.0	17.8	6	4	3.8
	38.0	10.0	20.5	5	3	4.0
	44.5	18.5	22.4	6	5	4.5
2月 上旬	15.0	26.5	20.1	5	7	4.6
	15.5	44.0	28.5	5	3	4.3
	20.0	10.5	25.7	4	2	3.9
3月 上旬	85.0	29.5	30.0	7	7	4.7
	54.5	51.5	33.5	4	5	4.0
	11.5	67.5	41.4	4	5	5.2
4月 上旬	61.0	16.0	33.0	8	3	3.6
	49.0	8.0	29.9	7	2	4.0
	0.5	51.0	33.1	1	4	3.7
5月 上旬	7.5	4.0	41.7	1	2	3.6

終 霜 日 本年 3月27日 (最低気温 -1.8°C) 前年 4月12日 (最低気温 -0.1°C)

最低極温 本年 -5.5°C (1月 2日) 前年 -5.6°C (1月14日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (60年生)	180cm×30cm	91cm	155cm	防霜ファン設置圃場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:46.9 P₂O₅:12.8 K₂O:20.8

5. 概況

1) 気象

1月上旬から5月上旬にかけての平均気温は、1月上旬を除いて平年並～かなり高めで推移した。特に、2月下旬(平年差+2.1℃)、4月下旬(平年差+2.8℃)および5月上旬(平年差+2.3℃)が平年を2℃以上上回り高かった。また、期間中の最低気温が3月下旬を除いて平年を上回り、高く推移した。

期間中の降水量は、3月下旬(平年比28%)、4月下旬(平年比2%)および5月上旬(平年比18%)でかなり少なかったが、それ以外の期間で平年並～かなり多く推移し、総降水量432.5mmと平年(377.4mm)に比べて15%多かった。

2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、1月以降の朝晩の冷え込みが弱かったうえ、2月下旬以降に気温が高く推移したことから、前年より4日早く、前5か年平均より8日早い4月3日となった。

萌芽期以降の生育は、4月7日～10日にかけての一時的な冷え込みでやや緩慢となったものの、4月下旬から5月上旬にかけての高温で早まり、前5か年平均に比べて1週間程度早く推移した。

平成27年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月 5日	5月 11日	5月 13日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
470 ± 50	99	367 ± 15	77	476 ± 28	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
45.6 ± 2.8	140	32.6 ± 2.7	100	32.5 ± 1.5	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
873 ± 127	59	1191 ± 120	80	1480 ± 93	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年
68	53	56

6. 概況

1) 生育

本年の一番茶摘採日は、萌芽期が前5か年平均より8日早く、新芽の生育の進みが早かったことから、前5か年平均より8日早い5月5日となった。また、萌芽期から摘採日までの日数は32日と前5か年平均と同じであった。

本年の摘芽状況は、百芽重が前5か年平均の140%、新芽数が同59%となり、生葉収量は前5か年平均並の470kg/10aとなった。

2) 県内の状況

摘採始めは平坦地で5月2日頃、山間地で5月8日頃と平年より5日程度早かった。また、収量は芽数が少ない傾向がみられたものの平年並であった。

3) 病害虫の発生

カンザワハダニとチャノコカクモンハマキの越冬成虫の発生が平年に比べ多かったが、実害はみられなかった。